

令和 5 年度 国語科

教科	国語	科目	国語 A	単位数	3	年次/コース	中学 2 年生/ S S
使用教科書	伝え合う言葉 中学国語 2（教育出版）						
副教材など	昇級式漢字トレーニング(文理) 、必修テキスト、国語便覧(浜島書店)						

1. 学習の到達目標

●科目について 「国語 A」では、教科書の文章を読み解くことを中心に進めていきます。また、文章に対する自分の考えを深めます。文章中に出てきた、漢字や語句の意味・使い方についても身につけていく科目です。 ●コンピテンシーについて 文章の構成や表現についての知識を身に付け、論理的な読解に活かすことができる。 自分の読み取った内容や考えを的確に説明することができる。 文章内容を多角的・多面的な視点から吟味し、自分の意見を持つことができる。
--

2. 学習方法について

●授業中において さまざまな文章を理解するために、構成や表現を読み取りそれらを根拠とした論理的な読解をしていく必要があります。授業の予習、復習を通して読解や表現に必要な知識を身に付けましょう。また、文章についての自分の意見をまとめ、発表や作文を書くことで理解を深めましょう。 ●家庭学習において ・昇級式漢字トレーニングの 4 級を中心として漢字の読み書きチェックを実施します。漢字を正確に覚えるためには、まずは自分の手で書いてみるのが重要です。 ・「必修テキスト」には自分で取り組み、見直しをして問題演習を進めていきましょう。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 ・文章の中に出てくる漢字を正しく読み書きできる。 ・文章の構成について理解している	・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確に理解できている。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫できる。 ・文章全体と部分、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。	・作文や創作のパフォーマンス課題に粘り強く取り組んでいる。 ・今までの学習を活かして、与えられている課題に沿った学習に取り組んでいる。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。
評 価 方 法	・定期考査 ・課題、宿題	・定期考査 ・課題、宿題 ・リフレクション	・課題、宿題 ・授業姿勢 ・リフレクション

上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び
 評定(1～5の5段階)にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1～5
 の5段階)にまとめます。

4. 学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の 観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			①	②	③		
1 学 期	オリエンテー ション（1時 間）	・教材の確認 ・ノートの使 い方指導					
	詩 吉野弘「虹の 足」(2時間)	・抽象的な概 念を表す語句 などに注意し て読む。	○	○	○	・抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこ とをとおして語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて 考えて内容を解釈している。 ・すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生か して考えたことをノートにまとめようとしている。	
	小説 重松清「タオ ル」(7時間)	・抽象的な概 念を表す語句 や心情を表す 語句などに注 意して読む。 ・文章全体と 部分との関係、 例示や描写の 効果、登場人物 の言動の意味 などを考え、内 容の理解に役 立てる。	○	○	○	・抽象的な概念を表す語句の量を増し話や文章の中で使うこと をとおして語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しなが ら主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えてい る。 ・すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって 理解したことを説明しようとしている。	
	説明文 小野里公成「日 本の花火の楽 しみ」(5時間)	・抽象的な概 念を表す語 句や心情を 表す語句な どに注意し て読む。 ・文章全体と 部分との関	○ ○	○ ○	○	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理 解している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使ってい る。 ・「読むこと」において、文章と図表などを結びつけその関係を 踏まえて内容を解釈している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなど し、文章の構成や論理の展開表現の効果について考えている。	

	中間考査範囲 の復習 (2時間)	係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。		○	○	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・すすんで 必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。	
	説明文 坂茂「紙の建築」(6時間)	・事例の役割や効果を確かめながら読む。 ・事例と主張を関連づけて読み、筆者の行動とそれを支える考え方を捉える。 ・筆者の考えを踏まえ、社会との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	○	○	○	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。	
	随筆 谷真海「夢を跳ぶ」(5時間)	・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。	○	○	○	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・本や文章などにはさまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 「読むこと」において、 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中か	

	期末考査範囲 の復習（２時 間） 考査返却（１時 間） 考査補習（２時 間） 考査返却・解説 （１時間）				ら題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいこ とを明確にしている。 ○ ・すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって考えた ことをレポートにまとめようとしている。	
小説 山川方夫「夏の 葬列」（７時間）	・ 文章全体と 部分との関 係、例示や描 写の効果、登 場人物の言 動の意味な どを考え、内 容の理解に 役立てる。 ・ 文章の構成 や展開、表現 の仕方につ いて、根拠を 明確にして 自分の考え をまとめる。	○		○	・ 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこ とをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しなが ら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えて いる。 ○ ・ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考 えて、内容を解釈している。 ○ ・ すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって考 えたことを提案しようとしている。	
漢字検定対策 （２時間）	・ 過去問題演 習と答え合わ せを行う。					
説明文 丸井敦尚「水の	・ 図や写真と 文章とを関連	○			・ 意見と根拠 具体と抽象など情報と情報との関係について理解 している。	

山富士山」(5時間)	づけながら内容を捉える。 ・説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ・富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。	○		・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○ ・すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。	
中間考査範囲の復習(2時間)					
考査返却(1時間)					
考査補習(2時間)					
小説 太宰治「走れメロス」(7時間)	・文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。 ・文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えを持つこと。	○		・抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○ ・すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。	
評論	・筆者が用い	○		・抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこ	

龍村仁「ガイアの知性」(6 時間)	る 語句の意味を捉える。 ・ 筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。 ・ 自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。	○			とをとおして語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・ 情報と情報との関係の さまざまな表し方を理解し使っている。 ・ 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 ・ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・ すすんで文章の構成や論理の展開について考え、 学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。	
期末考査範囲の復習 (2 時間)						
考査返却 (1 時間)						
考査補習 (2 時間)						
考査返却・解説 (1 時間)						
詩 穂村弘「短歌の味わい」(3 時間)	・ 情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。	○			・ 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・ 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ・ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ・ 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。 ・ すすんで内容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。	

評論 内田樹「学ぶ力」(5時間)	・抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読む。 ・文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。	○	○	○	・意見と根拠 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・今までの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え 学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。	
随筆 向田邦子「字のない葉書」(3時間)	・随筆の流れを理解し、筆者の体験を通して伝えたいことを読み解く。 ・手紙と実際の父親の違い、場面での変化を文章から読み解く。	○	○	○	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・「読むこと」において、 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 ・すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって考えたことをレポートにまとめようとしている。	
考査補習(1時間)						